



株式会社ユニパック

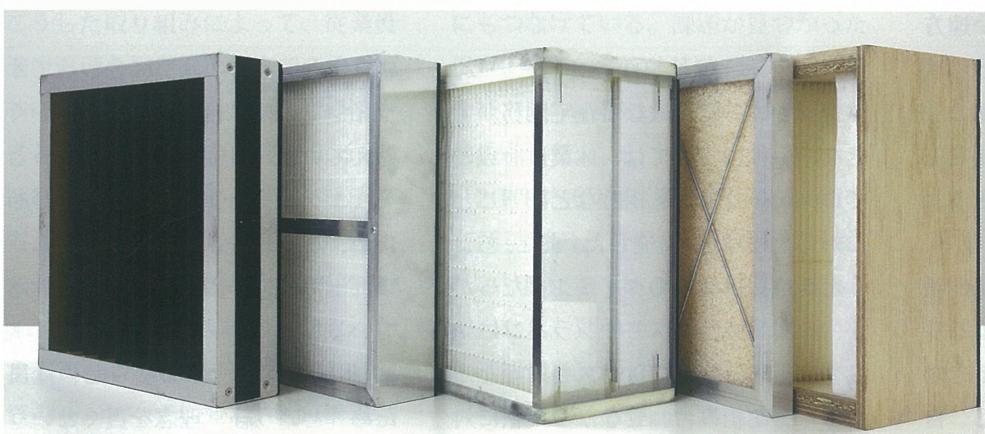
空調フィルターを50年ぶりに技術革新 ビルや商業施設の省エネでリード

使い捨てが当たり前だった空調フィルターの再利用化を実現。
ビルメンテナンスのコスト削減や、地球環境の保全に寄与している。
企業のESG重視の追い風も見据え、より一層の製品・サービスの普及を図る。

2020年4月、創業30周年を迎えた株式会社ユニパックは、空調フィルターの開発・販売やメンテナンスなどを手掛ける企業。代表取締役の松江昭彦氏が起業した。同氏は以前、空調機器商社に勤めており、その経験を生かして、機器の販売だけでなく、顧客と直接対話する仕事がしたいと、メンテナンス事業から始めた。そんなとき、「うちの仕事をしないか」と声をかけたのが、前職時代から松江社長を知る森ビル株式会社だった。時はバブル経済の真っ只中、オフィスビルなどの空

調フィルターの清掃業務は“3K”と嫌われて、人手不足の状況にあった。そこで松江社長は、この仕事を足掛かりに「お客様の“困った”」を解決したいとフィルター機器の改良にも力を入れた。

オフィスビルなどに設置されている空調フィルターは、塵をキャッチするプレフィルターと、より細かい塵を捕らえるメインフィルターで構成されている。通常は、プレフィルターを年4回洗浄し、メインフィルターを年1回交換しながら使う。これが50年前から業界の常識だった。しかし、松江社



左から火山灰対策フィルター「南風」、プレメイン兼用フィルター「涼風」、プレメイン一体型フィルター「薰風」。右端は、プレフィルターとメインフィルターが別になっている従来タイプ



据え付け、洗浄、交換もユニパックが実施する。洗浄の方法も常に研究しているという



ユニパックの空調フィルターは環境性能を認められ、東京ミッドタウン(左)、三井住友銀行本店(右)などで採用された



株式会社日本総合研究所
日本総研賞

株式会社三井住友銀行が主催、株式会社みらいワークスが共同運営する「未来2020」で「日本総研賞」を受賞。「フィルターを時代に合ったプロダクトに進化させた」と評価された

洗えるメインフィルターを一体化した製品の企画を提出。従来品より低価格で年1回洗浄すれば4年間使えるフィルターだ。これが開発できれば、施主は大幅な設備経費の削減を見込める。

そこでユニパックは、同業の近藤工業株式会社の協力を得て、2年間かけて試作し、プレメイン一体型洗浄再利用型フィルター「薰風」を完成させた。東京ミッドタウンには06年12月に全数を納品、07年4月の開業に間に合わせた。これをきっかけに「薰風」シリーズは、株式会社三井住友銀行の本店や中部国際空港などの施設で採用されるようになった。

多くの企業が重視する ESGへの取り組みに対応

ユニパック製品のメリットは、単に施設オーナーの設備経費削減にとどまらない。消費電力やCO₂の削減にも大きく寄与するという。例えば、東京ミッドタウンでは546tのCO₂を削減、中部国際空港では550tのCO₂と1,740万円の電力料金が削減できた(いずれも年間)。これは、事業活動に伴うCO₂量削減が喫緊の課題である企業に大きな

メリットをもたらしているといえる。

同社はその後、より空調効率を高めたスリムなプレメイン兼用型の「涼風」をリリース。また、鹿児島大学との共同開発で生まれた火山灰対策フィルターの「南風」といった製品ラインナップを揃えていた。「南風」には、富士山の噴火を想定した企業のBCP対策としての問い合わせが増えている。

これらの製品は、空調フィルターの「4R(Reduce・Reuse・Recycle Refuse)」をうたう。ちなみにRefuseはプレフィルターが不要なこと、Recycleは使用後のフィルターをそのまま燃料として再利用できることにより実現している。省エネ、CO₂削減、4R、これらはいずれもESGへの取り組みに他ならない。

同社は、20年4月に「IAQ先端技術研究所」を設立、「室内空気質」を研究中だ。これまでの除塵目的のフィルターを多機能化させ、抗菌抗花粉アレルゲンなどの機能による空気質改善も図る研究を進めているという。

現在同社の商圏は関東圏中心だ。「今後は、これを全国、とりわけ西日本に広げるため、協力会社を募りたい」と松江社長は展望を語ってくれた。 MP



「ESGの観点から、当社の空調フィルターにリプレースしてくれる企業が多くなった」と語る松江昭彦代表取締役

Corporate Profile

代表取締役 松江昭彦
所在地 埼玉県川口市西川口2-7-1
設立 1990年4月
売上高 7億3,000万円
(2020年2月期)
従業員 22人(2020年7月末現在)
<https://www.unipac.co.jp/>